

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 2 月 26 日作成)

委員会名	コンクリート試験法小委員会	主 査 名 : 谷川 恭雄
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名 : 嵩 英雄
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>(具体的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度 (2001 年度): 鉄筋コンクリート工事および構造物に適用可能な各種試験方法の技術の現状の調査および討議を行う。 ・ 2 年度 (2002 年度): 初年度に続き技術の現状の調査を行うとともに、マニュアル作成のための共通実験実施のための検討を開始する。 ・ 3 年度 (2003 年度): 各種試験方法の技術の現状を取りまとめた中間報告 (テーマ試験方法に関する応募論文を含む) を作成し、これら中間成果と次年度最終報告書に関するディスカッションを行うため、シンポジウムを開催する。また、本委員会提案の統一試験方法案 (単位水量、鉄筋探査等) としてまとめるため、公開共通試験を実施する。 ・ 4 年度 (2004 年度): 共通試験の最終取りまとめを行うとともに、「鉄筋コンクリート構造物の品質管理および維持管理に関する試験方法 (仮称)」の原案作成を行う。 	
委員構成 (委員名 (所属))	谷川恭雄 (名古屋大学) 池永博威 (千葉工業大学) 棚野博之 (建築研究所) 今本啓一 (足利工業大学) 込山貴仁 (コンステック) 鈴木一雄 (全国生コンクリート工業組合連合会) 高橋 茂 (セメント協会) 田村 博 (日本建築総合試験所) 並木 哲 (大成建設) 西田 朗 (清水建設) 畑中重光 (三重大学) 濱崎 仁 (建築研究所) 三井健郎 (竹中工務店) 山田和夫 (愛知工業大学) 湯浅 昇 (日本大学)	
設置 WG (WG 名 : 目的)	<p>迅速試験法ワーキンググループ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料選定から竣工までの各種試験方法に関して関連学協会などで提案、規格化されている既存試験方法の整合性、統一化に関する調査・検討およびそれらの取りまとめを行う。 ・ フレッシュコンクリートの単位水量に関する本小委員会提案の統一試験方法案としてまとめるため、公開共通試験を実施する。 <p>非破壊試験法ワーキンググループ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 竣工以降、建物の維持・管理、解体・改修までの各種試験方法に関して関連学協会などで提案、規格化されている既存試験方法の整合性、統一化に関する調査・検討およびそれらの取りまとめを行う。 ・ コンクリート中の鉄筋探査および反発度に関する本小委員会提案の統一試験方法案としてまとめるため、公開共通試験を実施する。 	
2003 年度予算	150,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>第10回小委員会：平成15年5月12日・11名 第11回小委員会：平成15年6月30日・12名 第12回小委員会(合同WG)：平成15年8月20日・14名 第13回小委員会(合同WG)：平成15年9月26日・15名 第14回小委員会(合同WG)：平成15年10月14日・15名 第15回小委員会：平成15年12月17日・12名 第16回小委員会：平成16年2月25日・9名</p> <p>第11回非破壊試験法WG：平成15年6月30日・12名 第12回非破壊試験法WG：平成15年8月7日・9名 第13回非破壊試験法WG：平成16年1月26日・8名 第14回非破壊試験法WG：平成16年3月17日開催予定</p> <p>第10回迅速試験法WG：平成15年6月3日・9名 第11回迅速試験法WG：平成15年7月7日・8名 第12回迅速試験法WG：平成15年9月16日・8名 第13回迅速試験法WG：平成15年10月8日・8名 第14回迅速試験法WG：平成15年12月3日・6名 第15回迅速試験法WG：平成16年1月21日・7名 第16回迅速試験法WG：平成16年3月2日開催予定</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に続き、鉄筋コンクリート工事および構造物に適用可能な各種試験方法の「技術の現状」の調査とその取りまとめを行った。 ・コンクリート構造物に関わる各種迅速試験および非破壊試験の統一規格案およびそれらの実施マニュアルを作成のための実態調査などの検討を行った。 ・本小委員会提案の統一試験方法案(単位水量、鉄筋探査等)としてまとめるため、公開共通試験を実施した。 ・2001～2002年度までに実施した各種試験方法の技術の現状の調査結果の説明、ならびにテーマ試験方法に関する応募論文の発表とディスカッションを行うため、シンポジウム「コンクリートの試験方法に関するシンポジウム」を開催し、「コンクリートの試験方法に関するシンポジウム・報告書」を刊行した。
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種試験方法の技術の現状を取りまとめた中間報告(テーマ試験方法に関する応募論文を含む)を作成し、これら中間成果と次年度最終報告書に関するディスカッションを行うため、シンポジウムを開催する。 各種試験方法の技術の現状の調査結果の説明、ならびにテーマ試験方法に関する応募論文の発表とディスカッションを行うため、シンポジウム「コンクリートの試験方法に関するシンポジウム」を開催し、「コンクリートの試験方法に関するシンポジウム・報告書」を刊行した。 ・本委員会提案の統一試験方法案(単位水量、鉄筋探査等)としてまとめるため、公開共通試験を実施する。 フレッシュコンクリートの単位水量、コンクリート中の鉄筋探査および反発度に関する本小委員会提案の統一試験方法案としてまとめるため、2003年8月に公開共通試験を実施した。一部試験については、現在も継続試験を実施中である。
その他評価すべき事項	<p>シンポジウム「コンクリートの試験方法に関するシンポジウム」の参加者数(121名)は募集定員(100名)を上回った。また、「コンクリートの試験方法に関するシンポジウム・報告書」については報告書のみ希望者も多く、後日増刷(40冊)を行った。</p>